

# 宇宙基本計画(骨子案)の概要

～ 宇宙発、日本の底力《実効性ある国際貢献と国民生活の質の向上》～

## はじめに

### 1 宇宙基本計画の位置付け

- 宇宙基本法24条に基づき宇宙基本計画を作成
- 10年程度を見通した5年間の政府の施策を総合的かつ一体的に推進する計画

## 2 宇宙開発利用の推進に関する基本的な方針

### 《我が国らしい宇宙開発利用の推進》

- 技術開発力を高めつつ、利用重視へ政策転換
  - 宇宙開発戦略本部を司令塔として、政府全体が一体となって施策を推進
  - 優れた技術・人材等の底力をもって宇宙の特性を活かし、グローバルな地球的規模の課題解決や世界の環境に優しい持続的発展に寄与する実効性のある国際貢献を目指すとともに、国民が安心して安全に豊かな生活を送れるよう国民生活の質の向上を目指す
- これらを具現化するために、次の5つを柱として施策を推進

### 《我が国の宇宙開発利用に関する基本的な方向性》

<p><b>方向性1</b> 宇宙を活用した安心・安全で豊かな社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の安全の確保、国土保全・管理、安全保障、食料・資源・エネルギーの確保、地球規模の環境問題（低炭素社会の実現）、豊かな国民生活の質の向上（健康長寿や利便性向上など）、持続的な産業の発展と雇用の創出に亘る様々なニーズに応じる宇宙開発利用の実現を目指す</li> </ul>	<p><b>方向性2</b> 宇宙を活用した安全保障の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の利用は、情報の収集や国際平和協力活動等における通信手段等の確保に有効</li> <li>・専守防衛の範囲内での宇宙開発利用による安全保障の強化（情報収集機能の拡充・強化、警戒監視等の防衛分野での新たな宇宙開発利用）</li> </ul>	<p><b>方向性3</b> 宇宙外交の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外交のための宇宙」 宇宙科学・宇宙開発利用は外交資産、ソフトパワーの源泉。外交ツールとして活用</li> <li>・「宇宙のための外交」 我が国の宇宙開発利用や宇宙産業発展のための外交努力</li> </ul>	<p><b>方向性4</b> 先端的な研究開発の推進による活力ある未来の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の真理を探求する宇宙科学、人類の活動領域を拡大する有人宇宙活動を通じた活力ある社会の創造</li> <li>・世界的な環境・エネルギー問題解決に資する先端的な宇宙技術開発への取組</li> <li>・我が国が主体的に計画し国際協力を主導しうる立場を重視</li> </ul>	<p><b>方向性5</b> 21世紀の戦略的産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙産業は、我が国の宇宙活動を支える重要な基盤</li> <li>・宇宙産業は、多くの利用分野への広がりを持ち、利用産業の付加価値を高めるなど幅広い産業への波及効果</li> <li>・宇宙産業を21世紀の戦略的産業として育成し、国際競争力を強化</li> </ul>
---	---	---	--	---

## 3 宇宙開発利用に関し政府が総合的かつ計画的に実施すべき施策

<p><b>①ニーズに応える衛星等の開発利用計画の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 衛星等の開発利用計画の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なニーズに対応するため宇宙開発利用で実現を目指す今後10年程度の具体的な目標を明らかにし、それに向けた陸域・海域観測衛星、データ中継衛星、安全保障を目的とした衛星、地球環境観測衛星、気象衛星、通信・測位衛星等に係わる研究開発及び利用を、政府全体として一体的に推進</li> <li>→ 10年程度を見通した5年間の衛星等の開発利用計画の推進</li> <li>・産学官の関係者からなる宇宙開発利用推進連絡会議（仮称）を通じてプログラムの具体化を図りつつ推進</li> </ul> </li> <li>2 衛星利用システムの構築           <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用促進策の強化：専門家から一般ユーザー</li> <li>・異なる衛星の画像データに利用者がワンストップでアクセスでき、見やすい形で検索できるようなアーカイブ、配信システムの整備</li> <li>・利用料金の考え方も含めた標準的データポリシーの作成</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>②我が国の安全保障を強化する宇宙開発利用の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報収集衛星の機能拡充・強化</li> <li>2 安全保障分野での新たな宇宙開発利用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の推進（早期警戒機能、電波情報収集機能等）</li> <li>・デュアルユース等のより効率的な宇宙開発利用の検討</li> </ul> </li> <li>3 安全保障上のデータ管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高解像度画像の一般利用について、国の安全の観点から必要なルール作りを検討</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>③外交に貢献する宇宙開発利用の推進と宇宙のための外交努力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アジア太平洋地域等への貢献           <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップ確立と「顔」が見える貢献</li> <li>・中東、アフリカ、南米地域等も視野に</li> </ul> </li> <li>2 地球環境問題等への貢献           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題へのイニシアチブ発揮</li> </ul> </li> <li>3 二国間関係の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日米緊密化、日欧協力深化、露・中・印ときめ細やかな関係構築</li> <li>・途上国のニーズの掘り起こしと対応</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>④世界をリードする先端的な研究開発の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 科学的発見に挑戦する宇宙科学研究の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き世界をリードする科学的成果を目指し、理工一体となって、宇宙天文学、太陽系探査等を推進</li> <li>→ 10年程度を見通した5年間の宇宙科学プログラムを推進</li> </ul> </li> <li>2 有人・無人宇宙活動の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」は社会ニーズに対応した実用化を目指した課題に重点化</li> <li>・有人宇宙活動への長期的視点に立った取組</li> <li>・月を当面の探査の重要な目標に設定</li> <li>・長期的にロボット・有人連携を視野に、2020年頃に日本らしいロボット・月探査計画の実現を目指し今後1～2年程度をかけて検討</li> </ul> </li> <li>3 環境・エネルギー対策等に貢献する先端的な研究開発等の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙太陽光発電のシステム検討、地上での技術実証</li> <li>・デブリの状況把握、発生低減や除去への取組、国際的枠組み作りへの参加</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>⑤戦略的産業としての宇宙産業育成の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際競争力の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙機器（衛星、ロケット、部品・コンポーネント）産業の国際競争力強化の推進</li> <li>・宇宙利用産業の裾野の拡大及び国際競争力強化の推進</li> <li>・産学官で研究開発の目標・計画を策定・共有し推進</li> <li>・トップセールスを含めた国際市場開拓の推進</li> </ul> </li> <li>2 自立的な宇宙活動を支える宇宙輸送システム構築の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星等の開発利用計画・先端的な研究開発と世界の衛星需要に対応したロケット開発利用の推進（H-IIA系、GX、固体、将来の輸送システム）</li> <li>・打上げ射場の維持・整備等の推進（射場の維持・更新、打上げ時期制約等への対応、長期的視点に立った射場の在り方の調査）</li> </ul> </li> <li>3 産業活動等の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業、大学等の能力活用</li> <li>・税制上・金融上その他の措置</li> </ul> </li> </ol>
--	--	---	--	---

### ⑥次世代を担う人材への投資と国民の理解の醸成

- 1 次世代を支える技術者・研究者の育成
  - ・大学、大学院における宇宙教育・研究の強化
- 2 子供達への教育と宇宙の魅力を伝える広報活動等の推進
  - ・科学館、インターネットの活用
- 3 国民参加型の施策の推進
  - ・衛星や宇宙用ロボット等のコンテスト

## 4 宇宙基本計画に基づく施策の推進

- 施策の実施のために必要な予算・人員の確保
  - フォローアップと施策の進捗の公表
  - 宇宙以外の政策との連携・整合性の確保
- 宇宙開発戦略本部を司令塔として毎年フォローアップを実施、国際動向の調査・分析の強化